

各位

一般財団法人日本語教育振興協会
理事長 佐藤 次郎

令和6年度日本語学校教育研究大会の開催について(ご案内)

当協会の事業運営につきましては、日頃多大の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、本大会を別紙1の実施要項により開催することといたしました。今回は、5年ぶりに対面で開催いたします。また、オンライン参加では、一部のプログラムのライブ・アーカイブ配信をご視聴いただけます。つきましては、ぜひ多数の方にご参加いただきたく以下の通りご案内いたします。

記

プログラム等詳細については、令和6年度日本語学校教育研究大会プラットフォーム
< <https://padlet.com/nisshinkyo3/kenkyutai2024> >でも随時情報更新をいたしますのでぜひご覧ください。

参加をご希望の方は、以下のいずれかの方法でお申し込みください。

- 1) Peatix < <https://kenkyutai2024.peatix.com> >
- 2) Google フォーム < <https://forms.gle/SwGKV8juwVZhqFim7> >

申込締切日 2024年7月24日(水)

(添付資料)

- 別紙1 大会実施要項
- 2 大会趣旨
- 3 大会日程
- 4 事務連絡
- 5 メール用参加申込書

問合せ先 事業部(小野寺陽子・渡部)

TEL 03-6380-6557

FAX 03-6380-6587

Eメール nisshinkyo2@gmail.com

HP <https://www.nisshinkyo.org/>

令和 6 年度日本語学校教育研究大会実施要項

1 趣 旨

一般財団法人日本語教育振興協会維持会員機関に勤務する教職員等を対象として、日本語学校教育のより一層の充実並びに日本語教育機関としての社会的地位の確立を目指し、各機関で展開されている豊かな教育実践を機関を超えて共有することを通して教職員の資質の向上を図ります。

2 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟研修室
東京都渋谷区代々木神園町 3-1

3 日程・開催方法

8月5日（月）

時間	プログラム	会場 (オリセン)	ライブ (YouTube)	アーカイブ
10:00-10:30	開会挨拶・大会趣旨説明	○	○	○
10:30-12:00	講演	○	○	○
13:30-16:45	講演・パネルセッション	○	○	○
17:00-	交流会（要別途参加申込・参加費）	○		

8月6日（火）

時間	プログラム	会場 (オリセン)	ライブ (YouTube)	アーカイブ
10:00-12:00	分科会	○		○
12:15-13:45	ポスター発表・デモンストレーション 協賛団体紹介ブース	○		
14:00-16:15	自由研究発表・トーキングショップ	○		

8月23日（金）ポストセッション

時間	プログラム	会場 (オリセン)	ライブ (Zoom)	アーカイブ
19:30-21:00	オンライン交流イベント		○	

※日程等は変更になる可能性があります。ご了承ください。

会場参加：8/5、6は会場に参加してください。後日アーカイブ配信視聴もできます。

8/23 ポストセッションに参加できます。

オンライン参加：一部プログラムのライブ配信・後日アーカイブ配信を視聴できます。

8/5 交流会へのお申込みはできません。8/23 ポストセッションに参加できます。

4 参加資格等

- (1) 一般財団法人日本語教育振興協会維持会員教育機関に勤務する教職員、その他関心のある者としてします。
- (2) 1機関から多数の教職員が参加していただいて差し支えありません。ただし、定員を超える場合は、お断りする場合がありますのでお含みおきください。

5 参加費

※（税込）/1人当たり

	会場参加	オンライン参加	8/5 交流会 (会場参加者のみ)
維持会員	3,300円	2,200円	3,300円
賛助会員	4,400円	3,300円	
その他の教育機関、個人	5,500円	4,400円	

＜令和 6 年度日本語学校教育研究大会趣旨＞

大会テーマ『これからの新しい日本語学校の話をしてよう』

大会委員長 惟任将彦（大阪 YMCA 学院）

本年 4 月 1 日より、「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律」が施行されました。これに伴い、各校においては教育理念や到達目標、評価方法、および教育・学習内容等の見直しを進められていることと存じますが、認定されることがゴールではなく、その先を見据えて、自分たちの教育、および学校全体を見直し、リニューアルすることが大事なのではないでしょうか。

そこで、本大会のテーマを「これからの新しい日本語学校の話をしてよう」といたしました。大会一日目の午前には、2 本の講演を予定しております。まず、文部科学省日本語教育課から認定日本語教育機関と登録日本語教員に関する現状についてお話しいたします。その後、出入国在留管理庁政策課から技能実習制度、及び特定技能制度をめぐる状況と育成就労制度の創設についてお話しいたします。午後には、基調講演とパネルディスカッションを予定しております。基調講演は、京都大学から奥村好美先生をお招きし、『『逆向き設計』論に基づくカリキュラム設計ーより良い教育評価を目指してー』と題し、「日本語教育の参照枠」（以下「参照枠」）でも重要なポイントとなっている評価について、「逆向き設計」の理論とともにお話しいたします。それを踏まえ、パネルディスカッションでは、「教育理念」「到達目標」「評価」「教室活動」をいかに一本の線でつなぐかという観点から、教育の質の向上、および学校評価について登壇される先生方に議論していただきます。

二日目の午前には、3 つの分科会を予定しております。1 つ目は、「参照枠」に基づく教育実践、及び成績評価をいかに大学入試要件に接続していくかという「大学との連携」に関するもので、日本語学校側からの問題提起に関してフロアとのディスカッションを行うプログラムとなります。2 つ目は、「認定日本語教育機関日本語教育課程編成のための指針」においても、カリキュラムに盛り込むべき項目として「学習を自ら管理する能力」とありますが、この自律性に関わる「学習者オートノミー」について、大阪大学の義永美央子先生をお招きし、「教師オートノミー」とともに考えるワークショップを実施していただきます。そして、3 つ目は、日振協が文部科学省から委託されている「参照枠」を活用した教育モデル開発・普及事業での昨年度の成果物を使用したワークショップを行います。その後、午後の昼休憩の時間には、6 件のポスター発表・デモンストレーション、14 時から、8 件の自由研究発表と 6 件のトーキングショップを予定しており、いずれも質量ともに大変充実したものとなっております。

今年度は実に 5 年ぶりの対面開催となります。本大会が参加者のみなさまにとって、旧交を温め、再会の喜びを分かち合う機会となるとともに、新たな出会いが生まれ、これからの日本語学校教育について語り合う場となれば、それに勝る喜びはございません。

令和 6 年度日本語学校教育研究大会日程

本大会 1 日目 2024 年 8 月 5 日(月) 講演・パネルセッション等

本大会 2 日目 2024 年 8 月 6 日(火) 分科会・自由研究発表等

会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟

ポストセッション 2024 年 8 月 23 日(金) オンライン交流イベント

テーマ : これからの新しい日本語学校の話しよう

1 日目(8 月 5 日)

9:20～ 受付

センター棟 4F 417 室

10:00～10:30 (ライブ配信 アーカイブ配信)	開会挨拶 一般財団法人日本語教育振興協会理事長 佐藤次郎 来賓挨拶 文部科学省 高等教育局参事官(国際担当)参事官補佐 菊地勇次 大会趣旨説明 大会委員長 惟任将彦(大阪 YMCA 学院 教務主任)
10:30～12:00 (ライブ配信 アーカイブ配信)	講演 「日本語教育機関の認定と登録日本語教員について」 文部科学省 総合教育政策局 日本語教育課 「技能実習制度及び特定技能制度をめぐる状況と育成就労制度の創設について」 出入国在留管理庁政策課 課長補佐 新井靖久

12:00～13:30 昼休憩

食堂等について
時間帯やセンターの利用状況によりカフェテリア『ふじ』(センター棟 2F) は混み合う可能性があります。コンビニエンスストア(宿泊 D 棟 1 階交流プラザ横)やイートインスペース(カルチャー棟 2F)もありますのでご利用ください。

センター棟 4F 417 室

13:30～15:00 (ライブ配信 アーカイブ配信)	講演「『逆向き設計』論に基づくカリキュラム設計—より良い教育評価を目指して」 奥村好美(京都大学 教育学研究科 教育学環専攻教育・人間科学講座 准教授)
15:10～16:45 (ライブ配信 アーカイブ配信)	パネルディスカッション 加藤早苗(インターカルト日本語学校 校長) 亀田美保(大阪 YMCA 日本語教育センター センター長) 山本弘子(カイ日本語スクール 代表)

17:00～ 交流会

センター棟 2F センター内会場

2 日目のみ参加の方は、401 室前の受付(9:30～)にお越しください。
 1 日目に受付がお済みの方は、直接各会場へお越しください。
 会場により収容定員が異なります。定員に達した場合、ご入場いただけないことが
 ありますので予めご了承ください。

2 日目(8 月 6 日)**センター棟**

10:00～12:00 (アーカイブ配信)	分科会Ⅰ 「大学との教育連携を考える～送り出し側と受け入れ側の視点～」(仮)	401 室(定員 60 人)
	分科会Ⅱ 分科会「自ら学び続けるために～学習者と教師のオートノミー～」 義永美央子(大阪大学 国際教育交流センター 教授)	402 室(定員 80 人)
	分科会Ⅲ 「モジュールボックスを使って学習活動と評価を考えよう！」	310 室(定員 140 人)

12:00～14:00 昼休憩

ポスター発表・デモンストレーション**センター棟 416 室**

12:15～13:45 (配信なし)	超高齢化が進む地域での日本語教育と介護福祉士養成 池田敦史(安房医療福祉専門学校南房総校)
	社会参加につながる学びのデザイン 内田さつき(コミュニケーション学院)
	地域社会への介護人材の輩出を目指す連携教育の実践について～現地 校・日本語学校・専門学校・介護施設との重層的アーティキュレーションに よる介護人材育成～ 小宮山一徳・松本三知代(浜松日本語学院)
	『動画で学ぶ コンビニの日本語』教材作成のプロセスと期待される学習 効果 遠藤由美子(学校法人ARC学園ARC東京日本語学校)・森下明子・古 川由美子
	日本語学校の今をつくりあげてきた日本語教師のライフストーリー本のデ モンストレーション 佐藤正則(Japan Language School 横浜)・三代純平
	「『教室の中と外をつなげる』をめざして」 柳本真未・渡邊凜菜(南大阪国際語学学校)

協賛団体紹介ブース**センター棟 416 室**

12:15～13:45 (配信なし)	
-----------------------	--

自由研究発表

センター棟 310 室/401 室/402 室

14:00～14:35 又は 14:50～15:25 又は 15:40～16:15 (配信なし)	高等教育機関への進学に向けた語彙教育の取り組み 加藤淳・付洪雪(ミッドリム日本語学校)
	「日本語教育の参照枠」を活用した A1・A2 レベルのカリキュラム作成の試み 佐々木渉((学)石川学園横浜デザイン学院)
	参照枠×教科書×行事目標を掛け合わせた社会見学 佐々木渉・津金和代・堀口典子((学)石川学園横浜デザイン学院)
	アートカードを取り入れた A1 レベルでの活動 津金和代・新井華子・佐々木渉(学校法人石川学園横浜デザイン学院)
	「今、あらためて教育活動を見直そう—イベント活動を事例として」 近藤凧・玉置彩香(南大阪国際語学学校)
	実践授業「逃げなさい」～「サバイバル・リテラシー」を超えた学びを目指して 萩原秀樹(インターカルト日本語学校)
	ごみの分別・マナーの意識向上 平村和美(大原簿記法律観光専門学校金沢校)
	「いろどり」を使った授業改革の実践検証 ～新しい教育に向けて～ 谷内田千尋・喜多野菜生・酒井純華・道上陽介(専門学校アリス学園日本語学科)

トーキングショップ

※時間内の入退場・テーマの移動は自由です。

センター棟 416 室

14:00～15:00 又は 15:15～16:15 (配信なし)	「イラストでわかるこどものための日本語」実践報告 石井学・中澤美水・内村麻理((学)瀧澤学園 千葉モードビジネス専門学校)
	『みんなの日本語』と『できる日本語』はそんなに違うのか？ 今井新悟(一般社団法人日本語教育支援協会)
	ARCS モデルを活用した授業デザインを考えよう 篠原健治・郭絢麗(南大阪国際語学学校)
	パフォーマンス評価のツール「ルーブリック」について考える 富並美希(中央工学校附属日本語学校)・安達万里江(日本国際学園大学)
	日本語学校と高等教育機関との多様な連携の可能性について 二子石優(東洋大学国際教育センター)
	日本語教師の管理運営業務、どうなってる？どうしてる？ 古川嘉子(帝京大学)・平山允子・浦由実・中川健司

16:15 終了

ポストセッション(8 月 23 日)

Zoom

19:30～21:00	オンライン交流イベント
-------------	-------------

※なお、日程については当日一部変更になることがあります。ご了承ください。

令和6年度日本語学校教育研究大会 事務連絡

I 大会プラットフォームについて

プログラムや資料、動画配信等の情報は
本大会プラットフォーム<<https://padlet.com/nisshinkyo3/kenkyutai2024>>にてご案内いたします。

II 参加申込みについて

○以下のいずれかの方法でお申し込みください。

1人ずつ手続可能 クレジットカード決済	Peatix https://kenkyutai2024.peatix.com
------------------------	---

【！】支払いはクレジットカード決済のみ。

- ・1度の手続につき1人分のみお申し込みできます。2人目以降のお申し込みは、再度チケットを購入してお申し込みください。お支払いを確認後、日本語学校教育研究大会プラットフォーム参加者専用ページへの招待メールをお送りします。
- ・領収データを、お申込み時のアカウントでPeatixサイトにログインの上、チケット画面にて入手することができます。領収データは適格請求書ではありません。

1人～10人まで手続可能 銀行振込	Google フォーム https://forms.gle/SwGKV8juwVZhqFim7
----------------------	--

【！】支払いは銀行振込のみ。

- ・振込手数料は参加者または各所属機関でご負担願います。
- ・参加費は、事前振込です。参加申込み受付け後、3日以内(土日祝日除く)に、当協会から受付番号・参加費金額・入金期限・振込先口座等が記載されたメールをお送りしますので銀行振込にてお支払いください。お支払いを確認後、日本語学校教育研究大会プラットフォーム参加者専用ページへの招待メールをお送りします。
- ・10人までまとめてお申込みができます。11人目以降のお申込みは、再度フォームにアクセスしてお申し込みください。
- ・領収書の発行はいたしません。銀行の発行する振込金受領書をご利用ください。

○申込締切 2024年7月24日(水)

○参加費

※(税込)/1人当たり

	会場参加	オンライン参加	8/5 交流会 (会場参加者のみ)
維持会員	3,300円	2,200円	3,300円
賛助会員	4,400円	3,300円	
その他の教育機関、個人	5,500円	4,400円	

- ・参加の有無に関わらず、参加費ご入金後の返金はありませんのでご注意ください。
- ・銀行振込の場合、振込手数料は参加者または各所属機関でご負担願います。

Ⅲ ご参加に際しての注意事項

本大会の録音、録画、保存は禁止します。

大会プラットフォーム参加者専用ページログイン情報等を参加者以外に共有すること、参加者以外の方が大会プログラムに参加することは禁止いたします。

Ⅳ 大会予稿集について

予稿集及び各プログラムの資料は、大会プラットフォーム参加者専用ページからダウンロード(PDF)ができます。公開時期等は随時ご案内いたします。

令和6年度日本語学校教育研究大会《参加申込書》
一般財団法人日本語教育振興協会事業部行

会員番号		※当協会維持会員校のみご記入ください。
所属 機関名		
TEL		
事務連絡用 Eメール		
申込担当者 氏名		

標記大会の参加を申し込みます。

(該当する□に☑してください。)

機関区分	☐ 維持会員	☐ 賛助会員	☐ その他
------	-------------------------------	-------------------------------	------------------------------

	参加方法	8/5交流会 (会場参加者のみ)	(ふりがな) 氏名	職名	メールアドレス (資料・お知らせ等送付先)	参加アンケート			
						8/5	8/6分科会		
						講演 パネル	大学と の連携	オート ノミー	学習活 動評価
1	☐ 会場 ☐ オンライン	☐ 参加する ☐ 参加しない	()			☐	☐	☐	☐
2	☐ 会場 ☐ オンライン	☐ 参加する ☐ 参加しない	()			☐	☐	☐	☐
3	☐ 会場 ☐ オンライン	☐ 参加する ☐ 参加しない	()			☐	☐	☐	☐
4	☐ 会場 ☐ オンライン	☐ 参加する ☐ 参加しない	()			☐	☐	☐	☐
5	☐ 会場 ☐ オンライン	☐ 参加する ☐ 参加しない	()			☐	☐	☐	☐
6	☐ 会場 ☐ オンライン	☐ 参加する ☐ 参加しない	()			☐	☐	☐	☐
7	☐ 会場 ☐ オンライン	☐ 参加する ☐ 参加しない	()			☐	☐	☐	☐
8	☐ 会場 ☐ オンライン	☐ 参加する ☐ 参加しない	()			☐	☐	☐	☐
9	☐ 会場 ☐ オンライン	☐ 参加する ☐ 参加しない	()			☐	☐	☐	☐
10	☐ 会場 ☐ オンライン	☐ 参加する ☐ 参加しない	()			☐	☐	☐	☐

参加アンケート:会場参加の方のみご記入ください。当日会場で参加予定のプログラムに☑してください。(運営の参考のために伺っています。予約ではありません。当日参加するプログラムが変わっても問題ありません。)

7月24日(水)までに、日振協事業部<nisshinkyo2@gmail.com>宛てお申し込みください。参加費は事前振込みです。参加申込み受付け後、3日以内(土日祝日除く)に、当協会から受付番号・参加費金額・入金期限・振込先口座等が記載されたメールをお送りしますので銀行振込にてお支払いください。

※申込多数の場合は締切日より前に受付を終了することがございますので、予めご了承ください。